

農業



平成30年8月号

会誌 No. 1641

目次

巻頭言

農の文化を伝えるために……………友田 清彦 3

論 壇

都市農業の新たな展開に向けた技術開発の方向性……………望月 龍也 4

農業懇話会

田園回帰の時代……………藤山 浩 6
- 地元にと仕事を取り戻す -

農事功績者座談会

野菜作（施設野菜・加工）経営…………… 27
中山間地域における農業経営と地域振興について……………水田 強 27
現地指導者のコメント……………小柳 利朗 35
意見交換…………… 37

研究の最前線

AIを活用した露地野菜用収穫機の最新技術動向……………村上 則幸 46

農業・農村の現場から

大崎耕土の世界農業遺産の保全と活用に向けて……………高橋 直樹 53

世界の農業は今

ネパールのトウガラシ等の野菜遺伝資源とその食文化……………松島 憲一 58

私の経営と志

古き良きモノを守り,新しいモノにチャレンジする……………妹尾 充 64

農政情報

…………… 66

大日本農会だより…………… 67

ミニ情報

肉用牛の飼養戸数・頭数の推移（平成30年2月1日現在）…………… 66

表紙写真説明

別海町の夏の風物詩（北海道野付郡別海町^{のつけぐんべっかいちょう}）

別海町は北海道の東部に位置し、面積は東京23区の2倍強で、人口は約1万5千人、牛の頭数は約10万8千頭で、人口の約7倍の牛がいます。広大な土地に恵まれ、酪農が盛んで生乳生産量は日本一を誇っています。この広大な土地を活用し、牧草の生産とともに乳用牛の放牧も盛んに行われています。生乳生産量は平成28年次で476千トン、産出額では465.4億円になります。

毎年9月第三土曜日と日曜日の2日間別海町産業祭が開催されます。別海町から産出される農業生産物や漁業生産物が一同に集まり、製品を広げる場となっています。平成30年度で49回目を迎えます。近年は町内、近隣はもとより、北海道内本州各地から大勢のお客様で賑わいを見せています。

産業祭では、町の第三セクターである(株)べっかい乳業興社や町内に工場がある雪印メグミルク(株)、明治乳業(株)、森永乳業(株)で生産される牛乳・乳製品も提供される。町内外へ「別海」ブランドを広げる場でもあります。

((株)べっかい乳業興社代表取締役専務 近岡一詩)